

2019年2月17日 二月度定例山行
アップダウンの大川入山

【記録】

2019年2月17日(日)

07:30 治部峠P着
07:43 出発
08:55 横岳ピーク。休憩
09:03 発
09:45 「山頂まであと2km」標識通過
09:58 休憩
10:04 発
10:22 「山頂まであと1km」標識通過
10:53 大川入山(1908m)山頂。休憩
11:18 アイゼンを着け、発
11:33 「山頂まであと1km」標識通過
11:58 「山頂まであと2km」標識通過
12:11 休憩
12:15 発
12:40 横岳ピーク。休憩
12:46 発
13:30 治部峠P着
13:45 最終組着 (記録：小栗一則)

「みなさん、アイゼンつけていないんですね。大丈夫なんですか？」

山頂直下まであとちょっとのところ、下ってきた登山者から、声をかけられた。

「あ、大丈夫でしたね。下りはつけた方がいいと思いますが…」

二月度の定例山行は2月17日(日)、大川入山で実施された。参加者は15人。

下見は、少し雪が舞う中を登ったという報告だったが、この日は穏やかに晴れた。それからの一週間、まったく降雪がなかったらしく、登山道の雪もかなり少なくなっていて、ところどころ地肌が出ている。残った雪は凍っていて、踏むとガリガリと音を立てる。登りはアイゼンを着けるほどではなさそうだ。

樹木の根に覆われた尾根を登って、1時間ちょっとで横岳のピーク。このあたりから、目指す大川入山のピークへ続く尾根を右手に眺めるようになる。山頂までは、大きなアップダウンをいくつか越えて行かなければならない。樹林の中の踏み跡を登って下って40分ほどで「頂上まで2km」の標識、さらに40分ほどで「頂上まで1km」の標識が現れる。まだ1kmもあるのか、と思うと、力が抜けそうになる。

樹林帯を抜けると周囲が一気に開ける。山頂下部の灌木と草の尾根上の道に白く雪が残っていて、部分的に赤土がむき出しになっている。帰りにはぬかるみになっているかも。いやだなあ。そんなことを思いながら、足が重くなりかけた頃、大川入山(1908m)山頂に出

た。10時58分。

山頂には何人かの登山者が休んでいる。御岳、木曾駒、空木などの中央アルプス、八ツ、遠く南アルプスまで、雪を頂いた連なりが一望できる。風もなく暖かい日差しの下、とても厳冬期の2000m近い山とは思えない。みんなでアイゼンをつけて下山に移る。

横岳まで1時間半、さらに駐車場まで45分、全員が駐車場に下ってきたのは13時45分だった。登り3時間強、下り3時間弱の行動。二月の大川入山の往復、例年通りもっと雪が多かったら、山頂には届かなかったかもしれない。

いい定例山行だった。

(文責・洞井孝雄)